

20日間しか収穫できないワケ

間に収穫されたものだけが出荷されます。 まめ』は最も香りや硬さが良いとされている20日 、なり、 色も黄色くなってしまいますが、

の出荷を予定しています。 から10月中旬ごろまでに限られ、 ることはありません。そのため、 作付け時期をずらしても、 収穫時期が長く 収穫は9月下旬 今年は約6トン

(1717) 年には栽培されていたとの記録が残っ 青大豆は江戸時代から栽培されており、 います。 行田在来枝豆が成長したものである行田在来

稲作が中心であった当時の農業の一つの問題は、 虫が豆の方に付くので稲への害が 貯めた水が抜けやすかっ いずれも昔の人の知恵 豆の木が育

『さきた

行田在来枝豆

実は 同じもの

大豆と枝豆の関係



『さきたまめ』は品種改良が行われていないた 枝豆は本来大豆になっていく過程で少 しずつ固

行田在来枝豆の歴史

享 保 2

減るなど諸説ありますが、 狙われにくい、 防にし、そこに豆の種をまきました。 田んぼのあぜ。当時はあぜ際に泥を塗り固めて堤 で作られていました。 つと、それが目隠しになって田んぼの稲が動物に もろくて崩れやすく、

在来種ならではの濃い香り

パッケージなどを一新し

広がり、口に入れれば、枝豆本来の濃い味を楽 枝豆とは一味違い、 しむことができます。 『さきたまめ』 は、 茹でた瞬間に香りが辺りに 皆さんが普段よく食べる

成長過程

行田在来枝豆

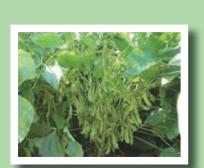
した。こうした中、

再び行田在来青大豆

生産と販路の拡大を目的と

栽培を復活させる取り組みを開始

埼玉県や農業関係機



植えてから約90日ほど で枝豆になります



8月中旬に花が咲き始めます



収穫量が多く作り

い品種

収益を目的 そのため、

としての復活

昭和50年ごろに姿を消しま

種まきをしてから約1週間 程度で芽が出ます

行田在来青大豆



さらに成長



枝豆は未成熟な大豆を収穫したものです。枝豆は日本独特の野菜で、大豆同様に たんぱく質、カルシウム、ビタミン、食物繊維などの栄養分が含まれています。

収穫量も限られ